



東海発電所 廃止措置状況



2013年10月撮影

この資料には当社の知的財産が含まれています。取扱いには十分注意願います。

2020.11 日本原子力発電株式会社

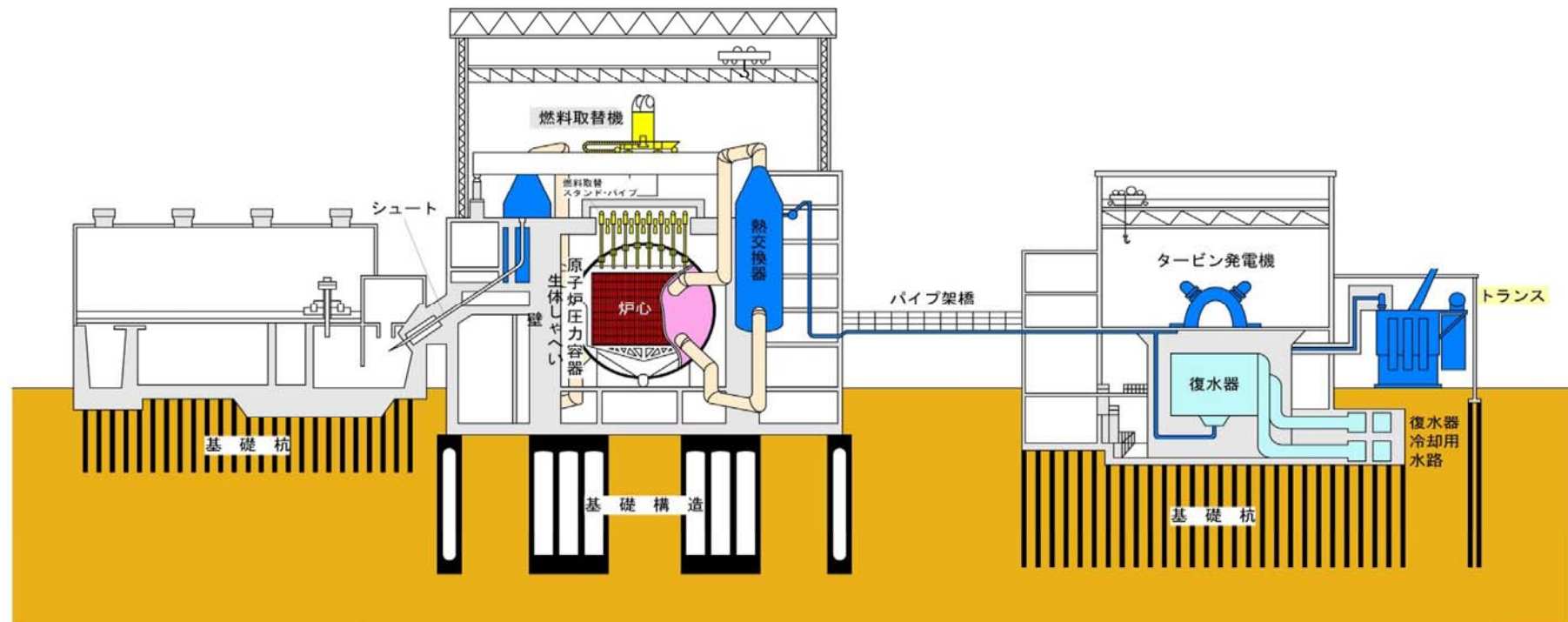
2020年11月

日本原子力発電株式会社

東海発電所の概要

定格電気出力 : 16万6千キロワット
炉型 : 黒鉛減速・炭酸ガス冷却型
燃料 : 天然ウラン
減速材 : 黒鉛
冷却材 : 炭酸ガス
燃料再処理 : 英国BNFL
《発電実績》
累積発電電力量 約290億キロワット時
平均時間稼働率 77.5%
平均設備利用率 62.9%

昭和41年 7月25日 営業運転開始
平成10年 3月31日 営業運転停止 (約32年間運転)
平成10年 5月28日 燃料取出開始
平成13年 3月29日 燃料取出完了 (16,384本)
平成13年 6月21日 燃料搬出完了 (18,952本)
平成13年12月 4日 廃止措置に着手
平成18年 3月31日 準備工事・附属設備撤去終了
平成18年 8月17日 熱交換器撤去等工事着手
平成27年 7月16日 低レベル放射性廃棄物の埋設事業許可申請



東海発電所の推定汚染分布

低レベル放射性廃棄物

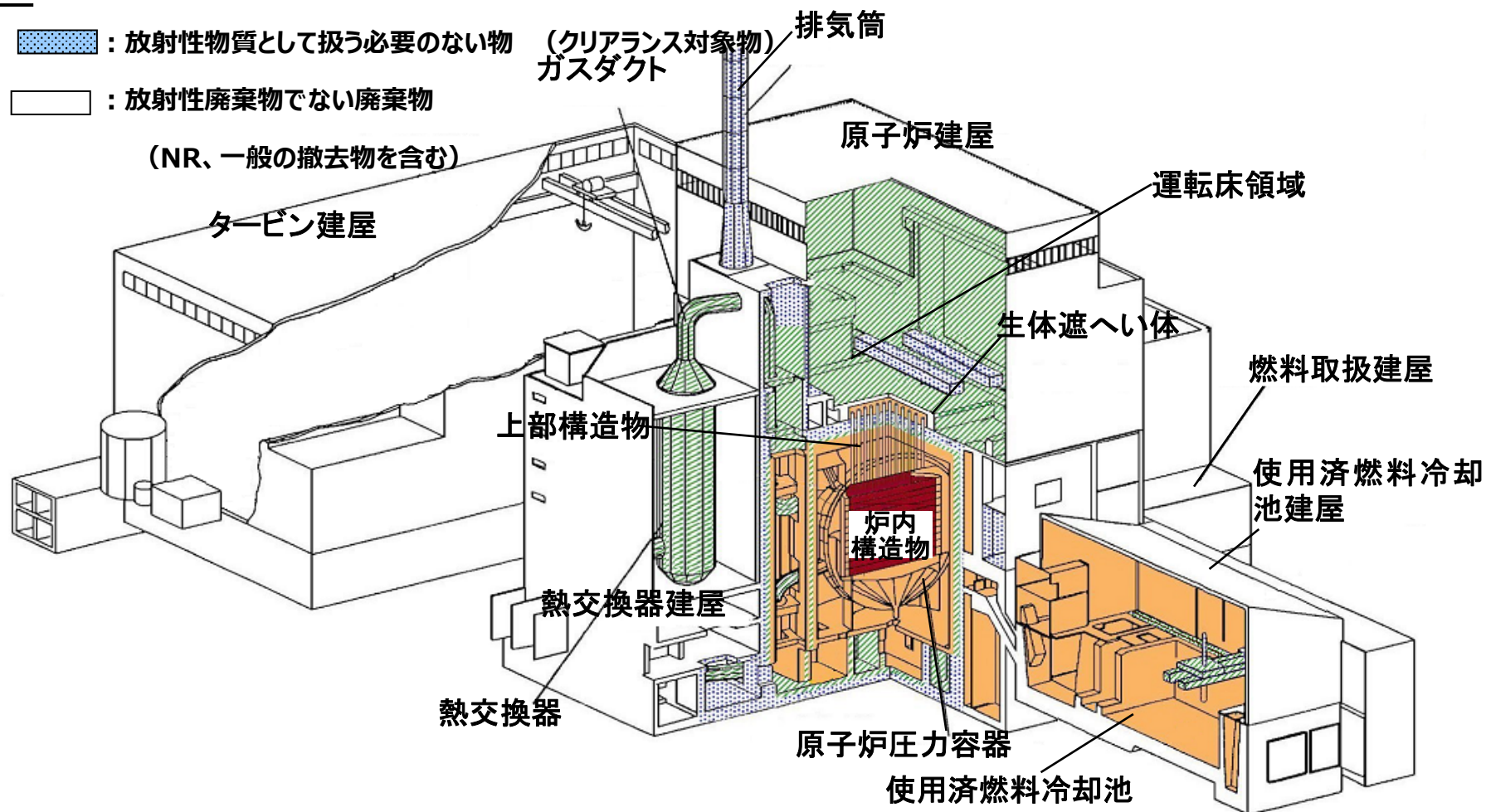
■ : 放射能レベルの比較的高いもの (L1)

■ : 放射能レベルの比較的低いもの (L2)

■ : 放射能レベルの極めて低いもの (L3)

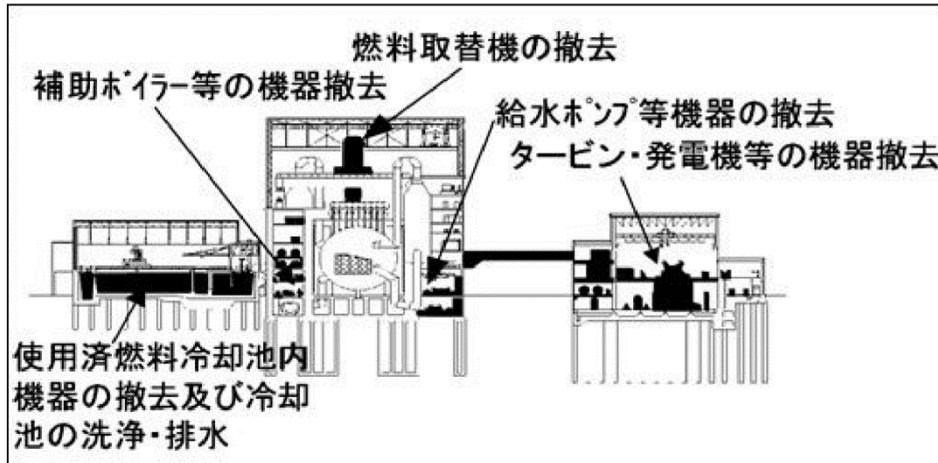
■ : 放射性物質として扱う必要のない物 (クリアランス対象物) ガスダクト

□ : 放射性廃棄物でない廃棄物 (NR、一般の撤去物を含む)

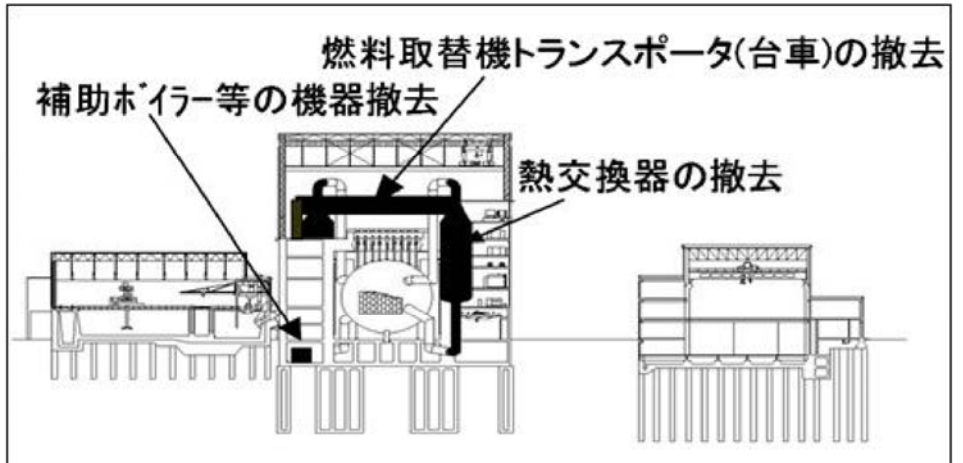


東海発電所 廃止措置の全体概要

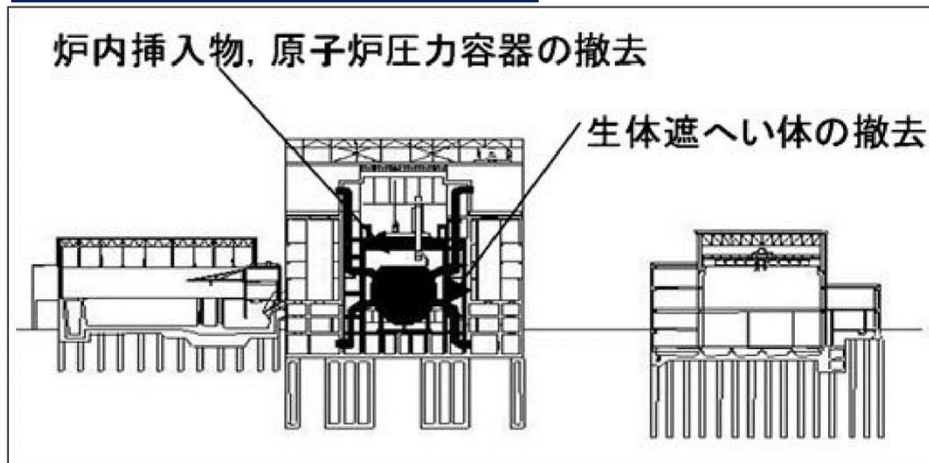
1. 原子炉領域以外の撤去



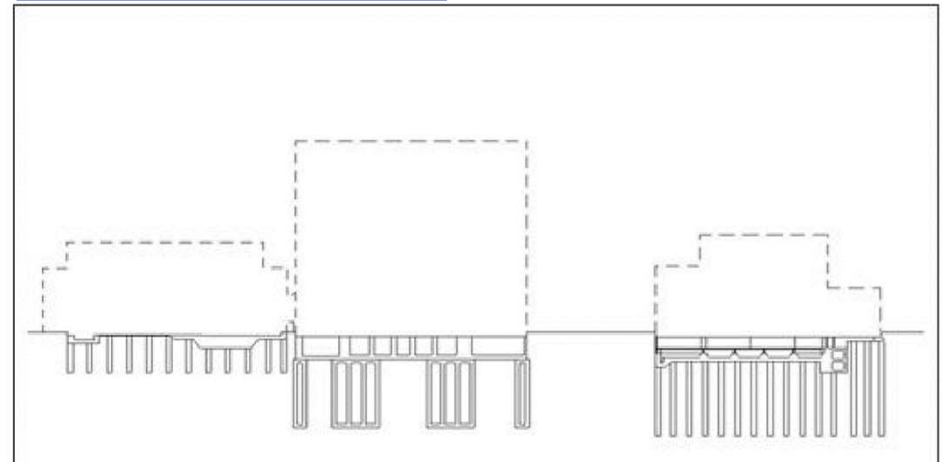
2. 原子炉領域以外（主に熱交換器）の撤去



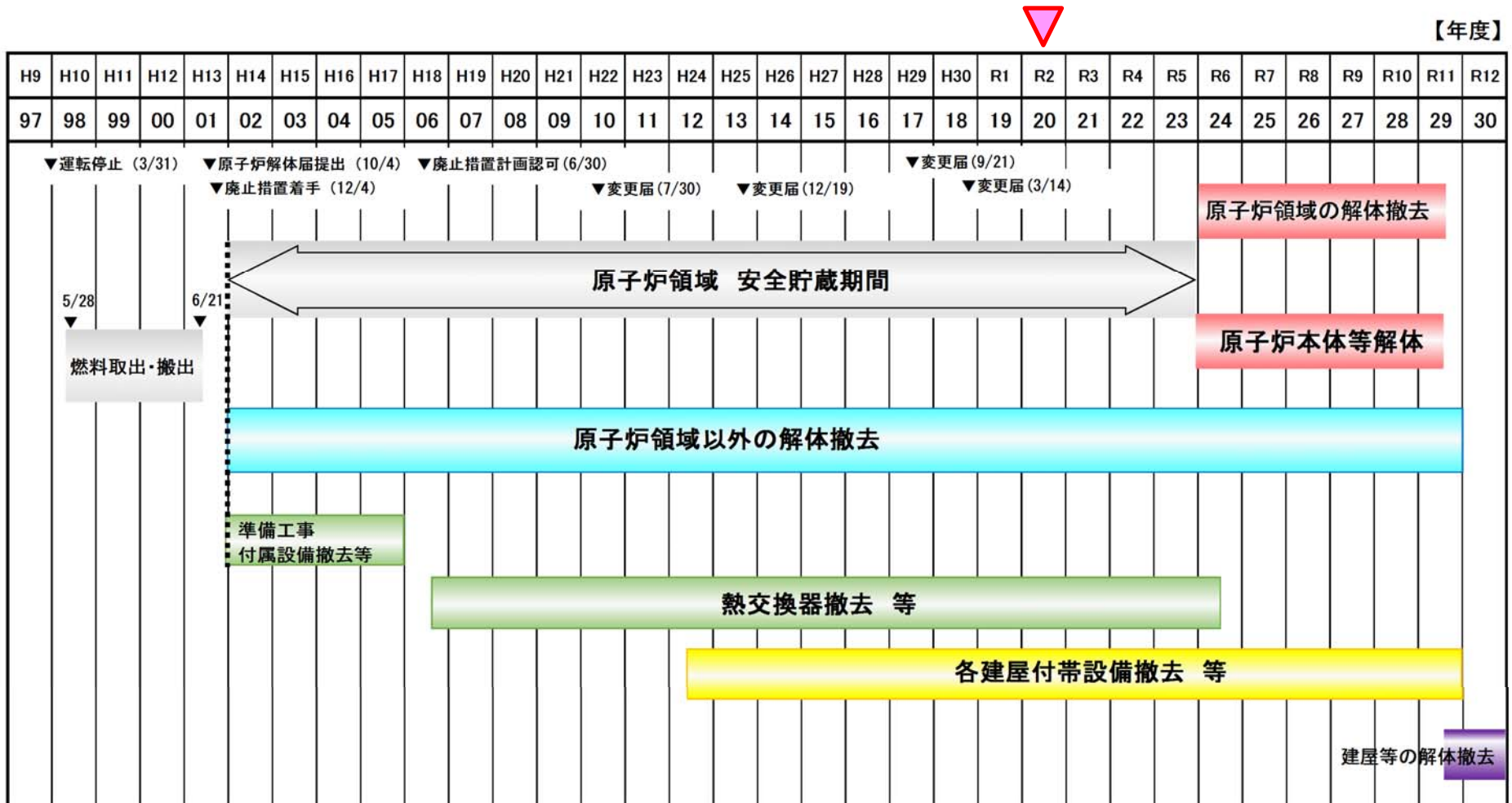
3. 原子炉領域の撤去



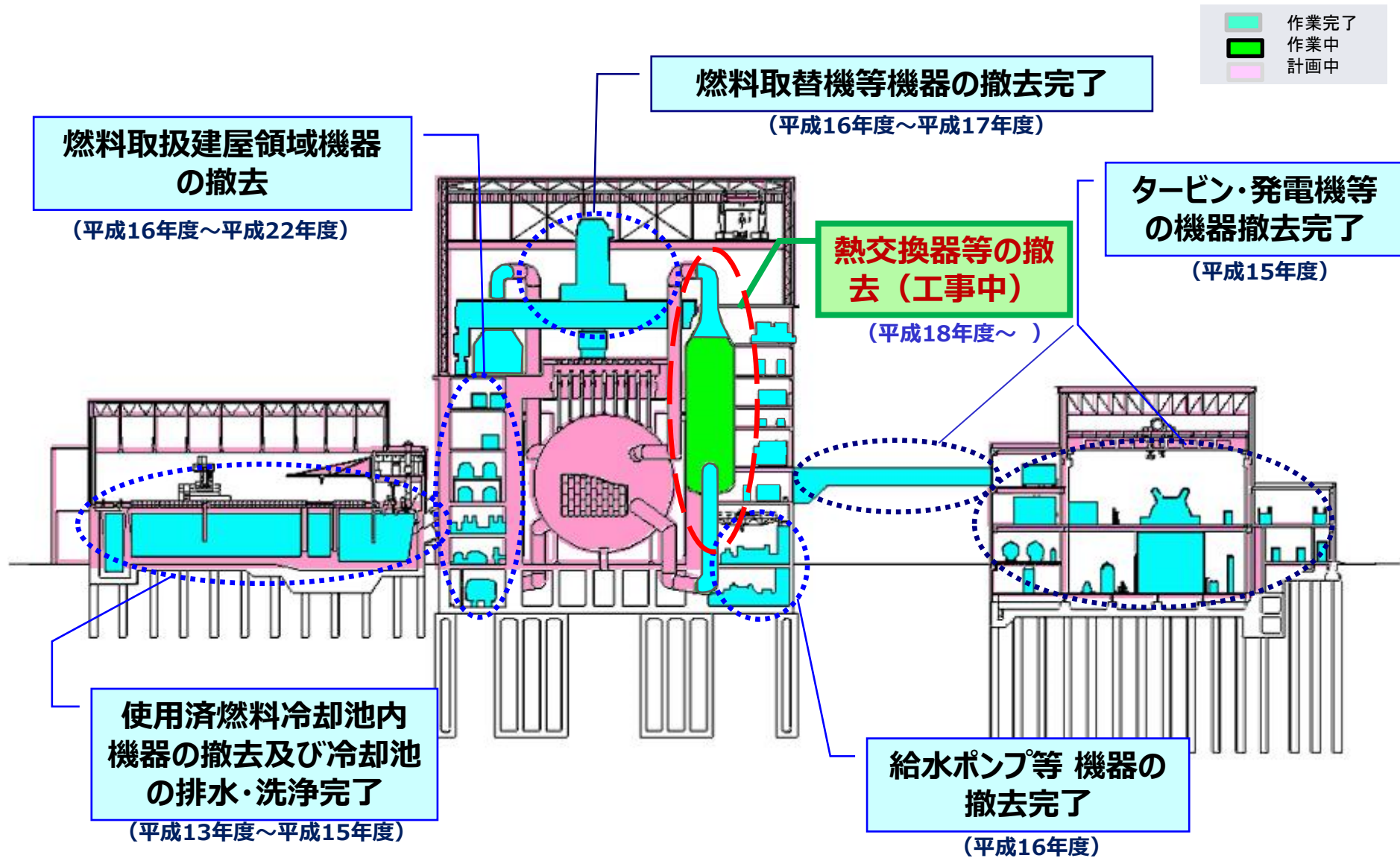
4. 建屋等の撤去



東海発電所 廃止措置の全体工程

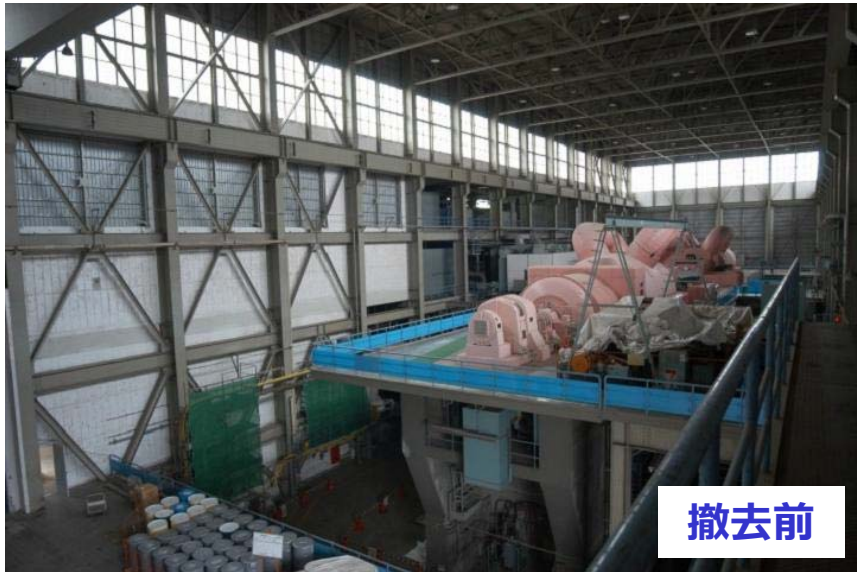


廃止措置工事概況（平成13年～令和元年）

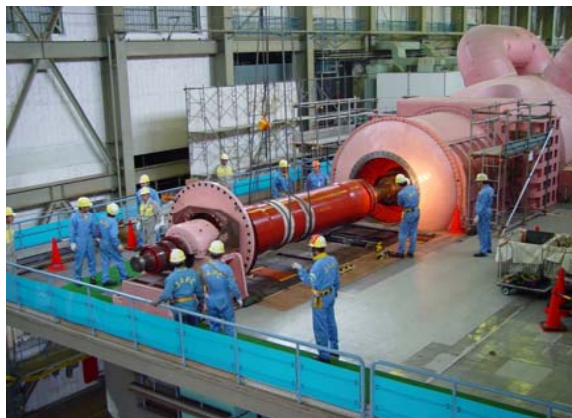


タービン・発電機等機器の撤去

- 非管理区域設備の撤去工事。撤去後に保管エリアとして活用



【発電機撤去】



【低圧タービン撤去】



【建屋内機器撤去】



原子炉サービス建屋の撤去

- 非汚染設備の撤去工事／撤去後に撤去物の保管エリアとして使用



【給水ポンプ撤去】



【非常用ディーゼル発電機撤去】



【給水ポンプ室撤去】



燃料取替機の解体撤去



撤去前



撤去後



【下部遮へい撤去】

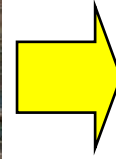
【下部遮へい撤去】

【トランスポータ撤去】



目的外使用・複製・開示禁止 日本原子力発電株式会社

使用済燃料冷却池内水抜き・清掃



作業状況



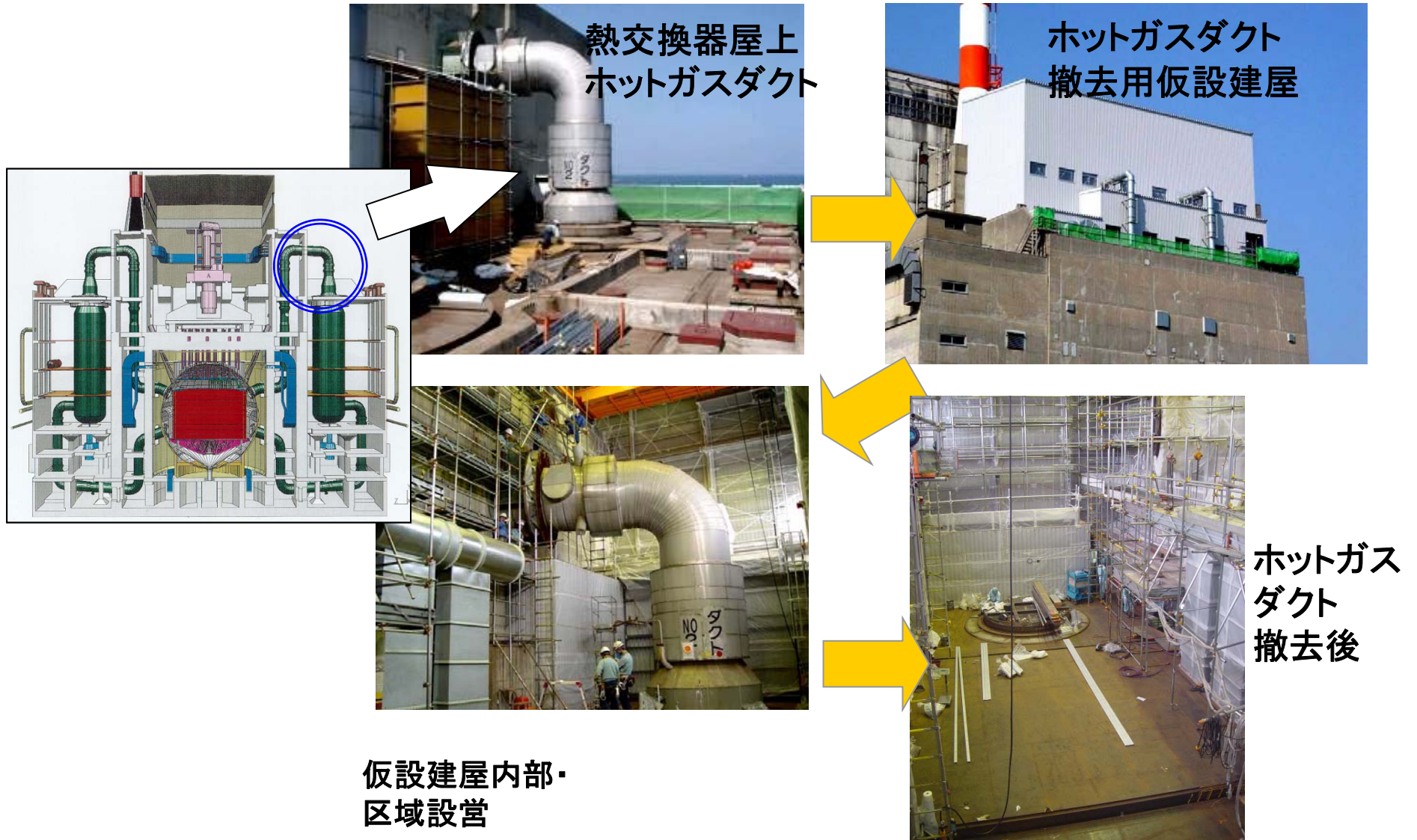
使用済燃料収納ラックの高圧ジェット洗浄作業



使用済燃料収納ラックの切断作業



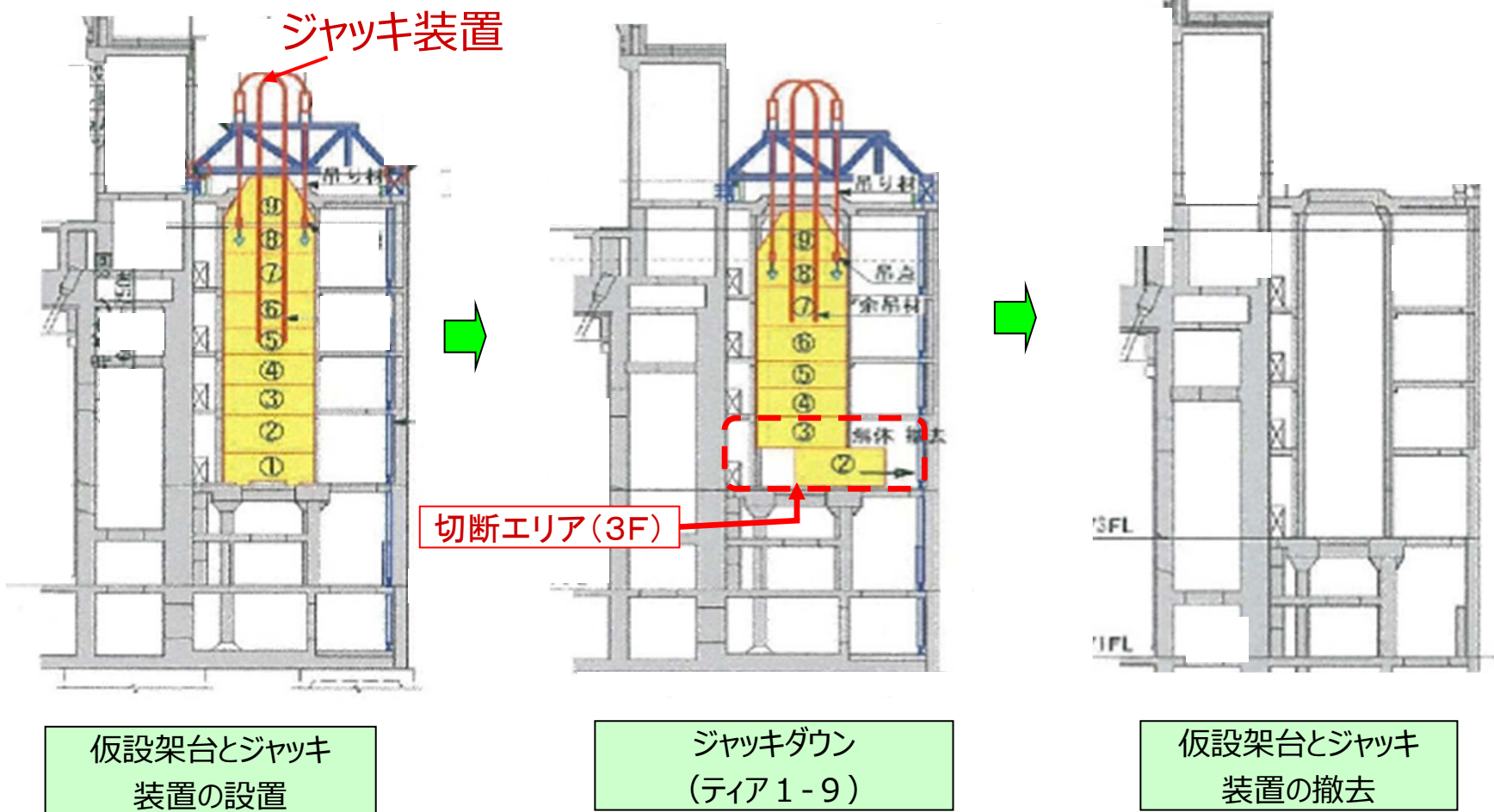
ホットガスダクトの解体撤去



熱交換器の解体撤去

4基のうち2基完了

- ・熱交換器の大きさ
高さ:約24m
直径:約6m
重量:約750t
- ・南北2基ずつ、計4基



燃料貯蔵倉庫撤去工事

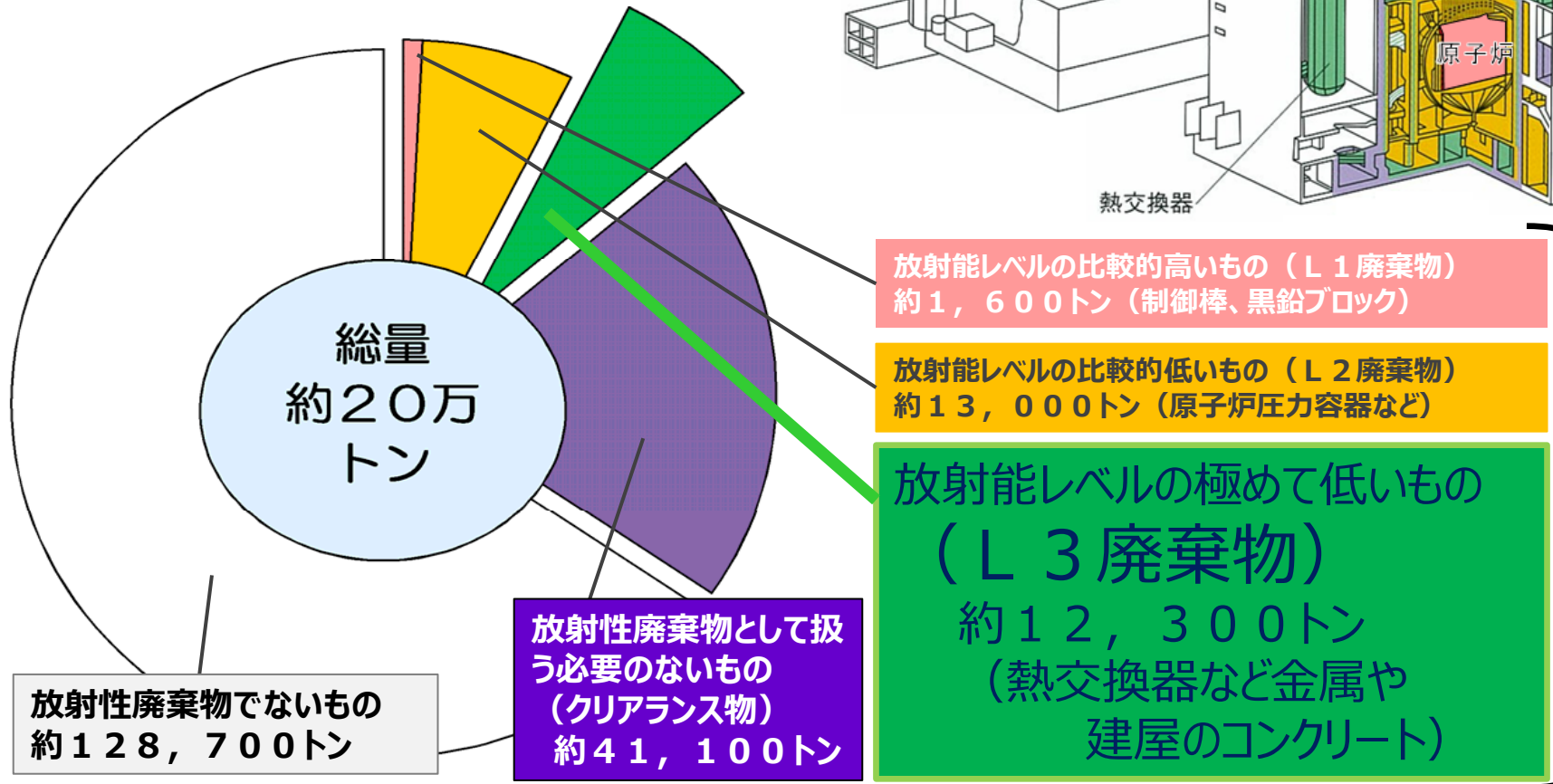
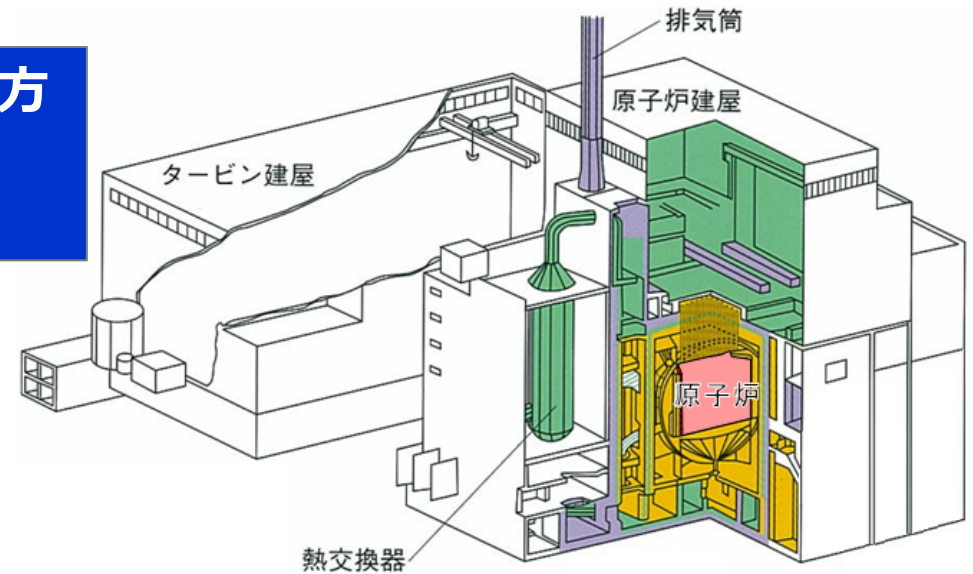
- 管理区域内の建屋撤去工事／撤去後に作業エリアとして使用



東海発電所 廃止措置で発生する廃棄物

廃止措置で発生した廃棄物の処分の考え方

- ・放射能のレベル毎に分類して
- それぞれのレベルに応じた方法で処分



低レベル放射性廃棄物

